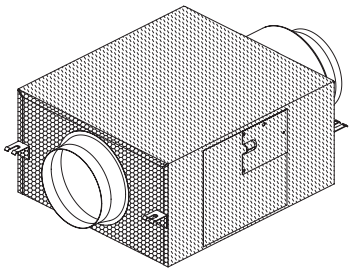
Panasonic

取扱説明書　工事説明付き



消音給気形キャビネットファン

品番　FY-18KCS3　FY-18KCF3　FY-20KCF3
FY-23KCS3　FY-25KCF3

もくじ

安全上のご注意 ・・・・・・ 2〜4

各部の名前と寸法 ・・・・・・・5
（品番表示位置）

保守・点検 ・・・・・・・・・ 6〜7

アフターサービス ・・・・・・・8

工事説明 ・・・・・・・・・・9〜11

1. 取り付けの前に ・・・・・・・・・・・・ 9
2. 取り付け方法・・・・・・・・・・・・・ 9
3. 電気結線・・・・・・・・・・・・・・・ 10
4. 推奨別販品について ・・・・・・ 11

仕様 ・・・・・・・・・・・・・ 裏表紙

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（2〜4ページ）を必ずお読みください。
- 取扱説明書は、大切に保管してください。
- この取扱説明書は最終需要家様まで確実にお渡しください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

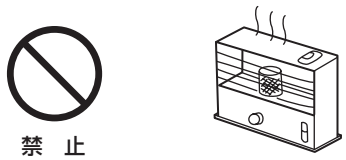
⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 危険

開放型燃焼器具（暖房機）の給排気用として使用しない



部屋の中でガス、石油ストーブなどを使用するときは、それ専用に別途給排気設備を必ず使用してください。

⚠ 警告

点検・お手入れの際は、電源（ブレーカー）を切る

感電やけがをすることがあります。

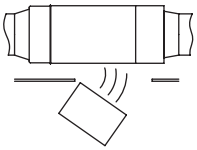
堅固な基礎に固定する

取り付けが不十分な場合、予期せぬ事故の原因になります。

接続や組み付けのボルトなどはしっかりしめる

しめつけが不十分な場合、落下やはずれによりけがの原因になります。

部品は確実に取り付ける



落下により、けがをするおそれがあります。

可燃性ガスが漏れたときは、窓を開けて換気する

ファンを運転すると、電気接点の火花により爆発火災の原因になることがあります。

メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触させない

漏電した場合、火災の原因となります。
（電気設備技術基準第182条）

⚠ 警告

使用を終了した製品は放置せずに撤去する

落下により、けがをするおそれがあります。

外気取入口には防鳥網または同等のものを取り付ける

鳥巣などの異物がある時は取り除いてください。室内が酸欠の原因になることがあります。

外気取入口は、燃焼ガスなどの排気口より離れた位置で使用する

室内が酸欠の原因になることがあります。

定められた人以外は、操作、点検をしない

禁　止

予期せぬ事故の原因になります。

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れない

禁　止

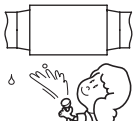
内部でファンが高速で回転しており、けがの原因になります。

本体の吸込口・吹出口を開放して使用しない

禁　止

運転時、人や物が吸い込まれけがの原因になります。また乱流などにより、予期せぬ事故の原因になります。

本体各部に直接水やお湯、かび取り剤などをかけない



禁　止

ショートや感電のおそれがあります。

電源スイッチをぬれ手で切／入しない

感電のおそれがあります。

ぬれ手禁止

ガス漏れのときはファンのスイッチを入れたり切ったりしない

禁　止

スイッチ火花によりガス爆発の原因となります。

搬入、搬出に際しては、重心および重量に注意しておこなう

吊り上げ、持ち上げ、保持が不完全な場合は落下し、けがの原因になります。

⚠ 注意

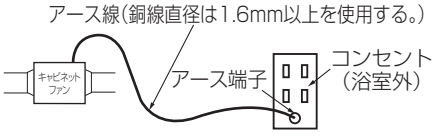
D種接地工事をおこなう

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。（異電圧仕様の機種の設置工事は、各電源電圧に応じた接地工事をおこなってください。）

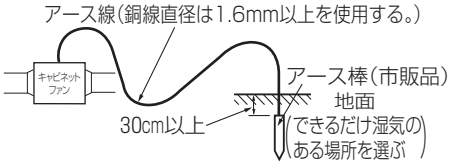
アース線接続

■アース工事は、次のいずれかの方法でおこなってください。
他の方法でおこなうと接地が十分でない場合があります。

●コンセントのアース端子にアース線を接続する場合



●アース棒を使用する場合



■ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。（法令で禁止されています。）
■設置場所の変更やご転居の際には、必ず再度アースの取り付けをおこなってください。

異常発生時（音、振動、臭い）は直ちに運転を停止し、修理を依頼する

予期せぬ事故の原因になります。

点検時には、手袋やヘルメットなどの保護具を着用する

けがややけどなどの原因になります。

電気、配管、設備工事については、専門業者に依頼して実施する

工事に不備があると予期せぬ事故の原因になります。

電気工事は、電気設備技術基準および内線規程に従い施工する

配線などに不備があると漏電や火災の原因になります。

本体をねじったり、ダクトなど過度の荷重が本体にかからないよう施工する

故障や落下して、けがの原因になります。

天吊りの場合、吊りボルトは規定の本数、ボルト径を使用する

足らない場合、落下しけがの原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 注意

ダクトは、結露防止のための断熱をおこなう

不完全な場合は、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

定格以外の電圧を印加しない

禁 止

火災、感電事故の原因になります。

改造、修理、分解を勝手にしない

禁 止

予期せぬ事故の原因になります。

定められた環境以外では使用しない(P12参照)

禁 止

羽根の破損やモーターの焼損などにより、予期せぬ事故の原因になります。

吹出口に目をむけない（特に起動時）

禁 止

ごみなどが飛んできて目に入ることがあります。

吹出口、吸込口付近に障害物を置かない

禁 止

飛ばされたり、吸い込まれたりして、けがの原因になります。

酸・アルカリ・有機溶剤・塗料などの有害ガス、腐食性成分を含んだガスが発生する場所（機械、化学工場及び研究施設など）には、本体及び室内給気口を設置しない

禁 止

ガスによる中毒や本体内部の腐食、劣化が発生し、火災の原因になることがあります。

定格範囲内で運転する

羽根の破損やモーターの焼損などにより、予期せぬ事故の原因になります。

点検時などに、本体からはずした点検口のふたや部品を落とさないよう注意する

落下して、けがの原因になることがあります。

ダクト内の風によるファンの回転に注意する

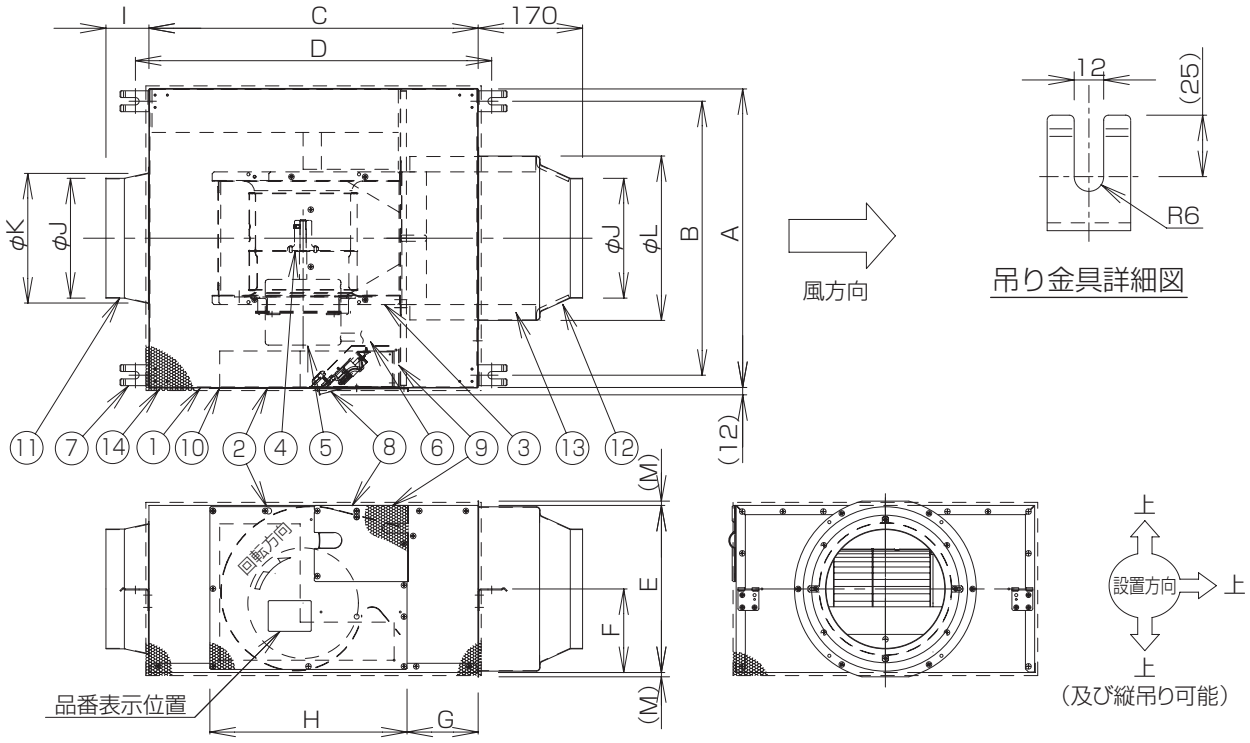
電源が切れていても、回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

お手入れの際は、ホコリの落下と足場に注意する

けがのおそれがあります。

各部の名前と寸法（品番表示位置）

消音給気形キャビネットファン



単位（mm）

品　番	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	接続ダクト寸法
FY-18KCS3	386	346	391	435	232	116	44	277	60	145	163	217	—	φ150
FY-18KCF3	446	406	481	525	254	127	100	299	70	195	211	268	11	φ200
FY-20KCF3	486	446	536	580	272	136	116	321	70	195	211	268	2	φ200
FY-23KCS3	538	494	550	594	298	149	72	347	70	195	211	268	—	φ200
FY-25KCF3	564	520	598	642	334	167	84	383	85	240	255	319	2	φ250

番号	部　品　名	数量	分　類	材　質
1	パネル類	1セット	鉄	亜鉛メッキ鋼板
2	点検パネル	1	鉄	亜鉛メッキ鋼板
3	ファンケーシング	1	鉄	亜鉛メッキ鋼板
4	羽根車	1	鉄+アルミニウム	亜鉛メッキ鋼板、主板アルミ
5	モーター	1	複合部品	—
6	モーターサポート	1	鉄	亜鉛メッキ鋼板
7	吊り金具	4	鉄	亜鉛メッキ鋼板
8	端子カバー	1	鉄	亜鉛メッキ鋼板
9	端子台ユニット	1	複合部品	—
10	吸音材	1セット	複合部品	グラスウール+ガラスクロス
11	アダプター	1	鉄	亜鉛メッキ鋼板
12	消音アダプター	1	鉄	亜鉛メッキ鋼板
13	消音筒	1	ウレタン	—
14	パッキン	1セット	—	—

お願い

本品を廃却の際は、上記の材質を目安にしてリサイクル推進に努めてください。

保守・点検

長期間安全にご使用いただく為に下記の事を守ってください。

1. 定期点検はお買い上げの販売店または工事店へご相談し依頼してください。
   相談先がなくお困りの場合は「パナソニック修理ご相談窓口」（P8ページ）へご連絡ください。
2. モーターの推定寿命時間は約2万時間ですが、使用状況によりモーターの寿命は異なりますので異常音などが確認されましたら、モーター交換を行ってください。

ご注意

定期点検を行うことによって、運転の効率が維持され無駄なエネルギー消費がなくなるのみならず機器の寿命を長くすることができます。
（点検周期は使用条件がきびしい場合、下表より短くしてください）

■ 日常点検（お客様へ）

初期状態と比べ著しい騒音・振動の発生がないか、運転状態の確認をしてください。（聴覚・触感など）

■ 定期点検（サービス会社様へ）

下表を参考に点検を行ってください。

記号の説明
○：定期点検
◆：定期交換部品の取替え

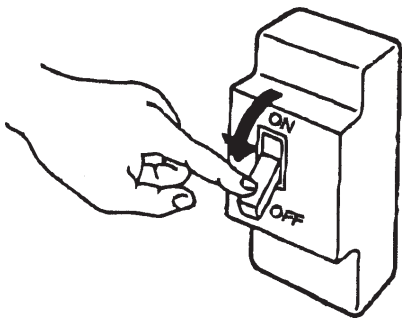
部品名	経過年数 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	点検内容	判定基準（目安）	保全内容	備考
1 送風機全体	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	機器更新	・騒音、振動の確認（聴覚・触感など）	・著しい騒音、振動の発生なきこと	・基礎ボルト、吊りボルトの増し締め ・補修困難な場合は製品交換	
																・取り付けネジ類のゆるみ確認（工具による）	・ゆるみなきこと	・工具による増し締め	
2 ファンケーシング モーターサポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		・外観の確認（目視点検）	・著しい発錆、腐食、付着物、変形のなきこと	・付着物の清掃除去 ・著しい発錆、腐食、変形、傷などのある場合は部品交換	
																・騒音、振動の確認（聴覚・触感など）	・異常音、異常振動のなきこと ・羽根車との接触なきこと	・各取り付けネジ部の増し締め ・接触による損傷がある場合は部品交換	
3 羽根車	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		・外観の確認（目視点検）	・著しい発錆、腐食、付着物、変形のなきこと	・付着物の清掃除去 ・著しい発錆、腐食、変形、傷などのある場合は部品交換	
																・回転状態の確認（目視、手回し）	・異常音のなきこと ・ファンケーシングとの接触なきこと	・接触による損傷がある場合は部品交換	
																・羽根車止めネジのゆるみ確認（工具による）	・ゆるみなきこと	・工具による増し締め ・羽根車止めネジの締め付け方法はP7ページを参照ください	
4 モーター	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	◆	○	○		・外観の確認（目視点検）	・著しい発錆、腐食、付着物、変形のなきこと	・付着物の清掃除去 ・塗装の剥がれ部はタッチアップ補修 ・著しい発錆、腐食、変形、傷などのある場合は部品交換	定期交換部品
																・騒音、振動の確認（聴覚・触感など）	・異常音、異常振動のなきこと	・異常時は部品交換	
5 パネル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		・外観の確認（目視点検）	・著しい発錆、腐食、付着物、変形のなきこと	・付着物の清掃除去 ・著しい発錆、腐食、変形、傷などのある場合は部品交換	
6 吸音材	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		・外観の確認（目視点検）	・ガラスクロスの剥がれ、破れ、付着物のなきこと	・異常時は部品交換	
																・外れ、剥がれの確認（目視点検）	・外れ、剥がれなきこと	・再度取り付け固定 ・異常時は部品交換	
7 端子台	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		・端子、ネジ類のゆるみ確認（工具による）	・ゆるみなきこと	・工具による増し締め	
8 外面パッキン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		・外観の確認（目視点検）	・パッキンの剥がれ、破れ、付着物のなきこと	・異常時は部品交換	

備考　上表は一般的な目安を示し、使用状況、設置条件等により変化することがあります。
運転時間の目安は、1日10時間、年間300日、3000時間としています。

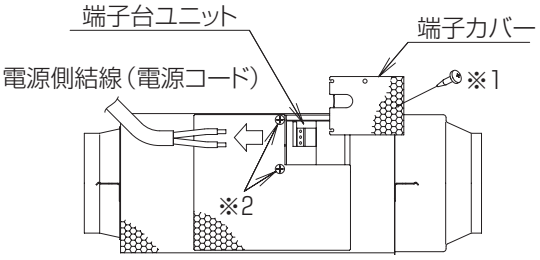
■ 分解要領

モーター交換など、分解が必要な場合には、次の手順に従って分解をしてください。
（安全上、必ず、手袋をご使用ください。）

1.まず、電源（ブレーカー）を切って



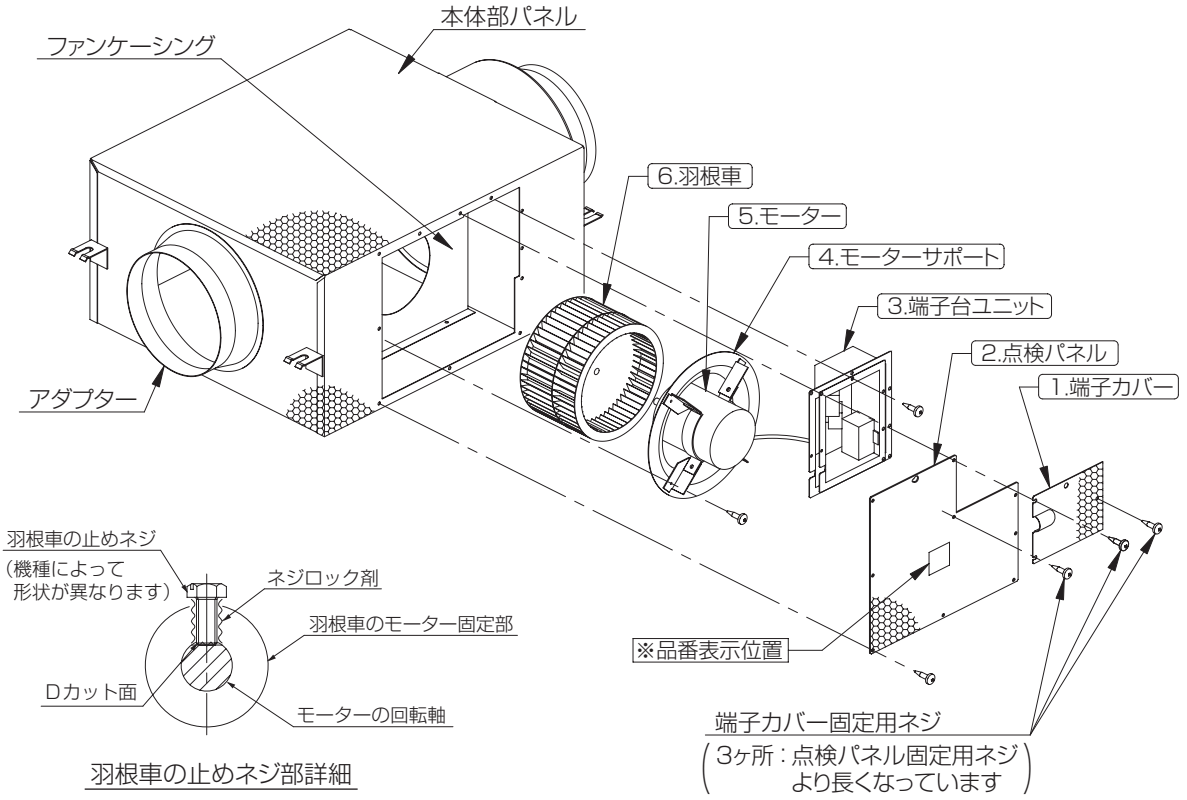
2.電源側結線をはずして



① 端子カバーのネジ（※1）1ヵ所をはずす。
② 端子カバーのネジ（※2）2ヵ所をゆるめ、端子カバーをはずす。
③ 端子台から電源側結線（電源コード）をはずす。

3.各部品に分解して

（順番にそって!!）



羽根車の止めネジ部詳細

ご注意

- ●羽根車の止めネジを締め付ける時は、ネジ穴および止めネジに付着しているネジロック剤を除去したあと、止めネジのネジ部に市販のネジロック剤を塗布し、止めネジとモーター回転軸のDカット面とが垂直であることをご確認の上、締め付けトルク588N·cm（±50N·cm）で締め付けてください。（締め付け不足·過多は故障の原因となります。）
- ●組み立ての際は、モーターのリード線をコードクリップ等にて確実に固定し、羽根車に巻き込まれないようにしてください。

アフターサービス よくお読みください

●修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店または工事店にお申し付けください。

相談先がなくお困りの場合は…
・修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
・その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■ 保証

消音給気形キャビネットファンの保証期間は納入の日から1年といたします。保証期間中正常な使用にもかかわらず、当社の設計、加工等の不備により故障または異常が発生した場合は、故障または異常の部位を無償で修理致します。ただし客先での改造、仕様変更、保管中の破損、故障または異常に起因する各種損害などについてはその責を負いません。
なお、消音給気形キャビネットファンは一般換気用・ビル空調用に設計しております。使用状況および用途が異なる場合は保証できない場合がありますのでご注意ください。

下記の事項に係る修理は無償修理保証の対象から除きます。
1.換気用途以外で使用した場合の不具合
2.お客様が適切な使用、維持管理を行なわなかったことに起因する不具合
3.当社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
4.建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う磨耗等により生じる外観上の不具合
5.海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
6.ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
7.火災・爆発等事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合
8.消耗部品の消耗に起因する不具合
9.指定規格以外の電気を使用したことに起因する不具合

ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて

・お客様の個人情報やご相談内容を、その対応や修理確認などのために利用し、残すことがあります。
・個人情報やご相談の記録を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
・ナンバー・ディスプレイを採用し、折り返し電話させていただくことがあります。
（お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。）

■ 補修用性能部品の保有期間

当社はこの消音給気形キャビネットファンの補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しております。
注）補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

故障と思われましたら下表に従って点検し、なお異常のあるときは、必ず電源を切って注文先にご相談ください。
そのとき、下記項目を確認の上ご連絡ください。

1.品番・製造番号（銘板に記載）
2.風量・静圧
3.使用状態（設置状況、使用期間、1日あたりの運転時間など）
4.異常状態（いつごろからか、またどんなときに発生するのか）
5.取扱気体（一般換気用か、清浄空気か、また用途は）

●修理料金の仕組み:
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

原因＼症状	風量不足	騒音過大	振動過大	モーター過熱	運転しない	対策
基礎が弱い	○	○	○			基礎補修
据付け不良	○	○	○			据付調整
定格と異なった電圧による運転	○	○	○	○	○	電源確認
回転体と静止部の接触	○	○	○	○	○	点検・調整
異物混入、塵埃付着	○	○	○	○	○	点検・清掃
ダクト工事不良	○	○	○			点検・調整
誤結線	○	○		○	○	結線変更

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/

修理に関するご相談

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

工事説明

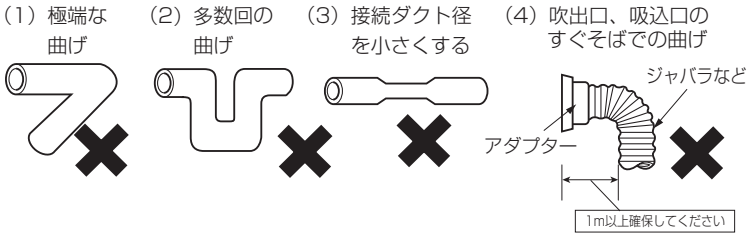
1.取り付けの前に

■ご確認ください。　●破損、変形はありませんか。　●ご注文通りの製品ですか。

お願い

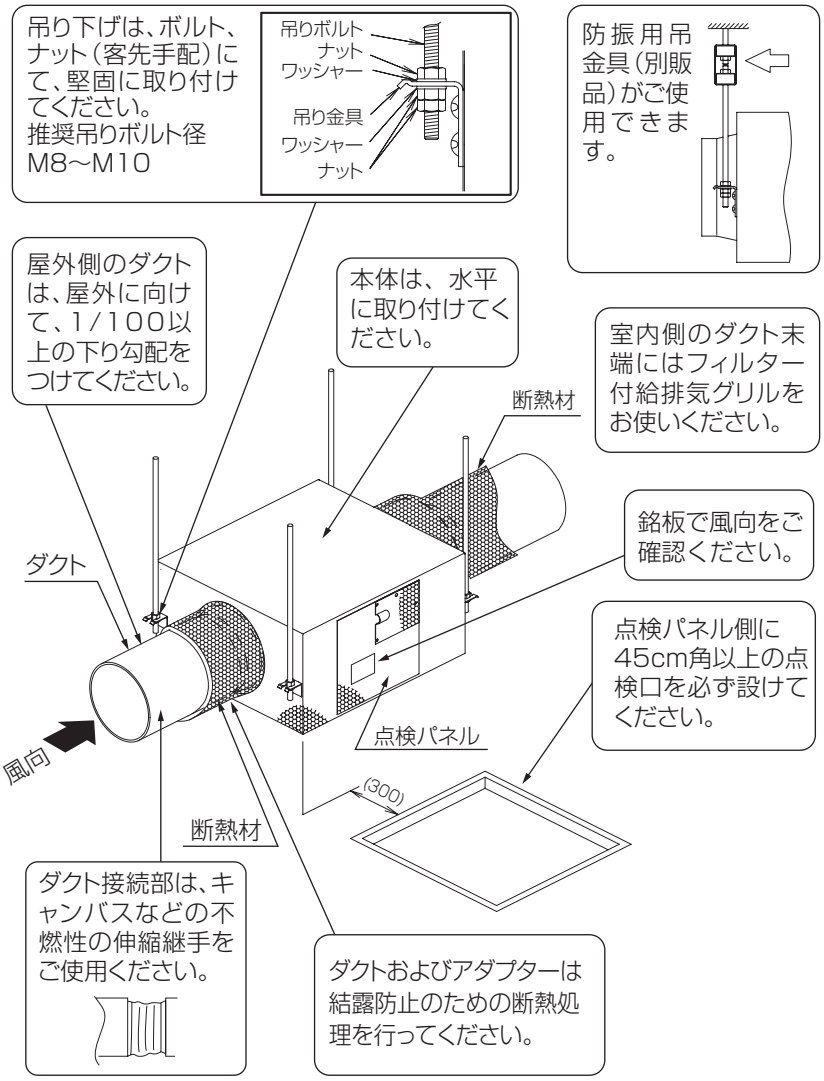
- 室内に、虫・ほこり等が侵入しないよう室内側のダクト末端にはフィルター付給排気グリルをご使用ください。（フィルター圧損による風量低下にはご注意ください。またフィルターの種類によっては、微小な虫が侵入する可能性があります。）
- 吸込側には、鳥等を吸い込まないよう防虫網付パイプフードをご使用ください。
- ダクトおよびアダプターは、結露防止のための断熱処理を行ってください。また、寒冷地※注や、室内外温度差の大きい場所では、製品本体にも追加断熱処理を行ってください。
  ※注:寒冷地＝次世代省エネ基準での地域Ⅰ・Ⅱ（国土交通省基準）。または、製品周囲の空気露点温度に対し、吸込み温度差が−15℃以上の場所。
- 通風口をふさがないでください。（壁やドア下等の通気口をふさぐと、効果的な換気ができません。）
- 製品の電源をご確認のうえ、取付工事を行なってください。
- 吊りボルトおよび基礎ボルトは十分な強度のものをご使用ください。
- 煙突排気の燃焼器具を使用される部屋で排気用として使用する場合は、十分大きな給気口を別に設けてください。（排気ガスが室内に逆流し一酸化炭素中毒を起こすことがあります。）
- 屋外への排気ダクトは、先端に市販のパイプフードを取り付け、1/100以上の下り勾配をつけてください。（雨水が侵入することがあります。）
- ダクト施工時は、商品本体に力が加わらないよう、ダクトを天井から吊るしてください。

- 次のようなダクト工事はしないでください。
  （1）（2）（3）はダクト抵抗が大きくなり、（4）は気流の乱れ・衝突が発生します。
  吸込口・吐出口が閉塞に近い状態での運転となりうるので、振動や騒音値が大きくなるばかりではなく、風量の低下やモーターに悪影響を与えます。
  （目安:最大風量の10%未満での運転はさけてください）



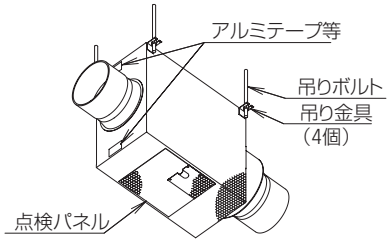
- 本体アダプター（接続口）とダクトを固定した後は、風漏れのないよう、市販のアルミテープでテーピングしてください。
- 運転停止時、羽根車が高速で逆回転しないよう、外風他による過度な風が接続ダクト内を流れないようにしてください。羽根車の破損等の故障の原因となります。
  （必要に応じて電動ダンパー等（市販品（客先手配））を設けてください。）
- 屋外（雨のかかる場所）や水のかかる場所、常時蒸気などが発生する場所、腐食ガスの発生するおそれのある場所、化学薬品を使用する場所では使用しないでください。
- ダクト接続や電源接続の際、本体に穴をあけますと本体内部の電装部を破損する恐れがありますのでお避けください。
- 熱気、油煙、蒸気、湿気などの発生する場所やプール、温泉には使用できません。（使用環境条件（周囲・取扱空気共）:−10℃〜+40℃ 相対湿度85%以下）

2.取り付け方法

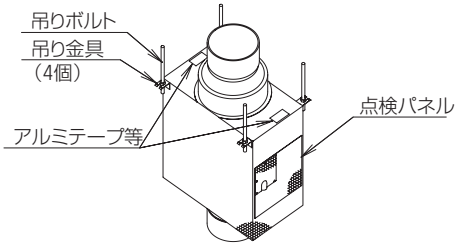


ご注意

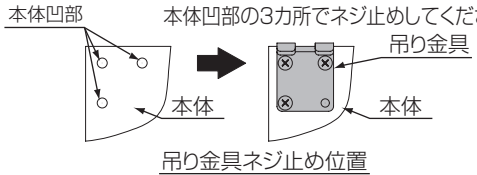
- 点検パネルを下面にして設置する場合は、出荷時に取り付けられている吊り金具（4ケ）を外し、図示面の本体凹部に付け替えてください。
  （※点検パネルを上面にしての設置はしないでください。）
- 風向をたて方向にして設置する場合は、出荷時に取り付けられている吊り金具（4ケ）を外し、図示面の本体凹部に付け替えてください。
  （パネル凹部は、ドリルネジを使用し電動ドライバー等で下穴を開けてください。吊り金具は外したドリルネジを全本数使用し、取り付けてください。またドリルネジを外した後の穴は市販のアルミテープ等にて塞ぎ、風漏れを防止してください。）



点検パネル下面設置の吊り金具取り付け位置



たて方向設置時の吊り金具取り付け位置



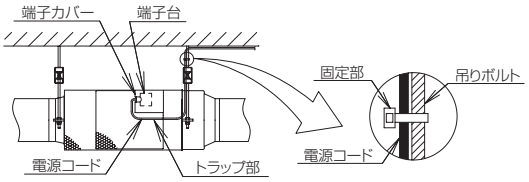
吊り金具ネジ止め位置

工事説明

3. 電気結線

電気工事店様へ

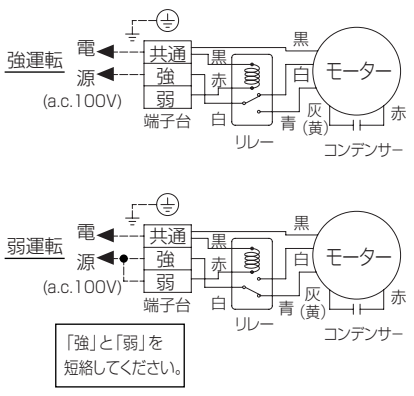
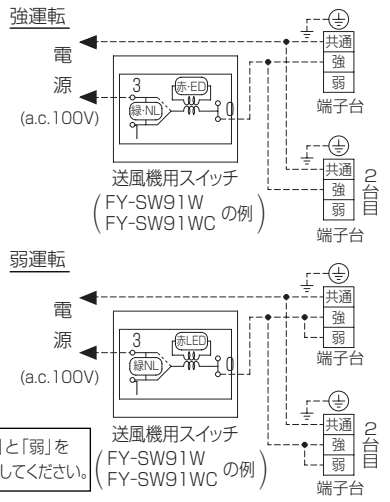
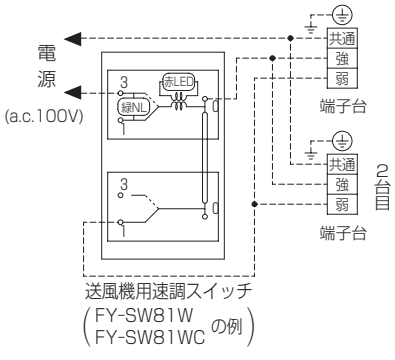
●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全･確実に行なってください。
●D種接地工事を行なってください。（異電圧仕様の機種の接地工事は、各電源電圧に応じた接地工事を行なってください。）
●過電流が流れたとき、モーター焼損防止のため、必ず機器1台毎に定格に合った過負荷保護装置（モーターブレーカーなどの保護機器）をお取り付けください。
（モーターブレーカー等の選定にあたっては、裏表紙の「仕様」に記載の最大電流の1.2～1.5倍を目安にしてください。
●漏電ブレーカーを必ず設置してください。
●端子カバーを開けて、電源コードを端子カバー内の端子台に結線してください。その際、電源コードは端子台に張力の加わらないように吊りボルト等に固定してください。
●電源コードを伝わって、端子台に水が付着するおそれがあるため、電源コードにトラップを設けるなどの処理をしてください。（右図参照）



●「結線要領図」の破線部を結線願います。
●本商品のモーター内部にはモーター保護用の温度ヒューズが装着されています。定格と異なった電圧による運転、誤結線での運転等の異常使用でモーター巻線の温度が上昇しつづけた場合に温度ヒューズが作動し、ファンを停止させます。一旦温度ヒューズが作動すると、モーターは復帰しません（回りません）。異常の原因を調査し、正常の使用状態にてモーターの交換をしてください。
●誤結線されますと本体内の端子台ユニット（リレー）よりブザーのような音がする時があります。正しい結線をしてください。また定格と異なった電圧による運転により端子台ユニット（リレー）が故障する場合があります。一旦端子台ユニット（リレー）が故障しますと「強」・「弱」運転の切換えができません。異常の原因を調査し、正常の使用状態にてリレーの交換をしてください。
●弱運転する場合、速結端子の「共通」と「弱」のみに電源コードを直接接続しても運転はできません。
●「入」・「切」運転および「強」・「弱」切換運転する場合は、送風機用スイッチ･送風機用速調スイッチ（送風機用制御部材）が必要です。結線および使用方法は送風機用スイッチ･送風機用速調スイッチに付属の取扱説明書を参照してください。
●インバータ運転を行なう場合は、当社送風機用インバータのご使用をおすすめします。異常な振動、共振、騒音等が発生しないよう、現場施工状態に応じてインバータ側の設定をお願いします。異電圧仕様の機種の場合等、市販品のインバータを使用する際も同じくインバータ側の設定をお願いします。（各インバータの設定については、インバータの取扱説明書をご参照ください。）
●インバータで制御する際に、各商品ごとの定格周波数を上まわる設定では運転しないでください。
●インバータで制御する際は、必ず「強」運転の状態でご使用ください。
●異電圧仕様（380V以上）の機種でインバータを使用される場合は、サージ抑制フィルターを設置してください。

⚠注意	**モーター破損の恐れあり** 定格と異なった電圧による運転、結線図と違った配線による運転、三相と単相をまちがえた運転などをしますと、モーター焼損事故につながりますので、結線は十分ご確認の上行なってください。

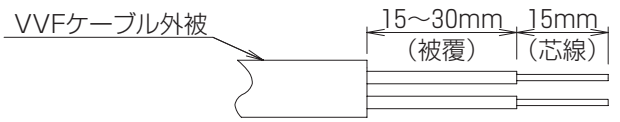
結 線 要 領 図 （破線 ----- は客先配線）

強または弱に固定して運転する場合 （送風機用スイッチを使用しない場合）	強または弱に固定して運転する場合 （送風機用スイッチを使用する場合）	強ー弱切換運転の場合 （送風機用速調スイッチを使用する場合）
		

●標準電圧仕様、異電圧仕様の場合

速結端子に対する電源コード処理

先端を15mm皮ムキした芯線（VVFケーブルφ1.6、φ2）を間違えないように端子台に確実に奥まで差し込みます。



4.推奨別売品について

品　番	送風機用制御部材							
	送風機用スイッチ（速調無）				送風機用スイッチ（速調有）			
	金属製プレート	樹脂製プレート	ワイド21		金属製プレート	樹脂製プレート	ワイド21	
			樹脂製プレート	樹脂製プレート（カバー付）			樹脂製プレート	樹脂製プレート（カバー付）
FY-18KCS3	FY-SW90	FY-SW91	FY-SW91W	FY-SW91WC	FY-SW80	FY-SW81	FY-SW81W	FY-SW81WC
FY-18KCF3								
FY-20KCF3								
FY-23KCS3								
FY-25KCF3								

品　番	ファン用部材			送風機部材	
	送風機用インバータ	温度スイッチ		防振用吊金具	防振用スプリング
		露出形	埋込形		
FY-18KCS3	FY-S1N02S	FY-STS06	FY-STKS03	FY-03BGH	FY-02BSH
FY-18KCF3					
FY-20KCF3					
FY-23KCS3	FY-S1N08S		——	FY-06BGH	
FY-25KCF3		FY-STS10			

品　番	システム部材									
	ベントキャップ	パイプフード						給排気グリル		消音ダクト
		丸形		丸形（防虫網付）		深形		フィルター付	フィルター無 注1	
		アルミ製	ステンレス製	アルミ製	ステンレス製	アルミ製	ステンレス製			
FY-18KCS3	FY-VCX062	FY-MCA062	FY-MCX062	FY-MNA062	FY-MNX062	FY-MFA063	FY-MFX063	VB-GE150P	FY-BGS06	FY-PS062
FY-18KCF3	——	FY-MCA081	FY-MCX081	FY-MNA081	FY-MNX081	FY-MFA083	FY-MFX083	VB-GE200P	FY-BGS08	FY-PS082
FY-20KCF3										
FY-23KCS3										
FY-25KCF3		——	FY-MCX10-SM	——	FY-MNX10-SM	——	——	——	FY-BGS10	——

注1）給排気グリル（フィルター無）をご使用の場合は防虫網付パイプフードを併用ください。

仕様

1.特性表

品番	羽根サイズ		電源（相・V）	極数	公称出力（W）	速調	代表静圧（Pa）		左記静圧時特性										最大電流（A）		起動電流（A）		質量（kg）
									風量（m^3/h）		消費電力（W）		騒音（dB）										
													側面		吸込側		吐出側						
	（cm）	（番手）					50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
FY-18KCS3	16	#1	単相100V	4	20	強	65	95	400	400	51	64	20.0	21.0	36.5	37.5	38.5	40.5	0.61	0.74	0.97	0.99	10.5
						弱	47	59	325	295	46	51	16.0	15.5	31.5	31.0	35.0	34.5	0.52	0.56	0.55	0.72	
FY-18KCF3	16	#1	単相100V	4	45	強	118	168	500	500	73	87	22.0	24.0	39.0	41.0	42.0	44.0	0.95	1.13	1.56	1.48	13.0
						弱	98	133	470	455	71	80	21.0	22.5	38.0	39.0	41.5	43.0	0.90	1.02	1.24	1.28	
FY-20KCF3	18	#1 1/4	単相100V	4	100	強	111	160	800	800	120	158	26.5	28.5	44.0	46.0	47.0	48.0	1.47	1.89	2.57	2.40	18.0
						弱	90	109	715	650	116	142	24.5	24.0	42.0	42.5	45.0	44.0	1.45	1.61	2.06	1.74	
FY-23KCS3	22	#1 1/2	単相100V	4	200	強	174	258	1000	1000	205	275	31.0	32.5	46.5	48.0	51.0	54.0	2.77	3.57	5.66	5.34	24.5
						弱	142	180	925	870	185	230	28.5	30.0	45.0	45.5	49.5	50.5	2.37	2.72	3.94	3.58	
FY-25KCF3	22	#1 1/2	単相100V	4	300	強	180	268	1500	1500	350	452	34.5	35.5	49.0	50.0	55.5	56.5	4.57	5.72	10.94	10.04	28.0
						弱	145	180	1310	1160	320	395	33.5	32.0	46.5	45.5	53.0	52.0	4.36	4.69	7.99	6.97	

注記）
1. 風量はチャンバー法により測定した値です。
2. 騒音は代表静圧時の値で測定位置は以下に示す通りです。（本体の吸込吐出両側にダクト接続時）
   側面――本体側面1.5mでの騒音値（吸込側・吐出側騒音含まず）
   吸込側――吸込側1.5mでの騒音値（側面・吐出側騒音含まず）
   吐出側――吐出側斜め45°1.5mでの騒音値（側面・吸込側騒音含まず）
   なお、1mの位置での騒音値は上記数値に2dBを加えてください。
3. 最大電流は最大風量時の測定値です。
4. 異電圧仕様は、電流等の特性が異なりますので、銘板をご覧ください。
5. 上記仕様は、常温（20℃）での値です。

2.使用環境条件

●周囲・取扱空気共　−10℃～+40℃・相対湿度85%以下
●屋外（雨のかかる場所）や水のかかる場所、常時蒸気などが発生する場所、腐食ガスの発生するおそれのある場所、化学薬品を使用する場所では使用しないでください。
●熱気、油煙、蒸気、湿気などの発生する場所やプール、温泉には使用できません。

愛情点検　長年ご使用の消音給気形キャビネットファンの点検を!

こんな症状はありませんか	・スイッチを入れても運転しない ・スイッチの動作が不確実 ・運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音や振動がする。 ・その他の異常や故障がある。	▶	このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品　番	
	販売店名	☎（　）　−	お客様ご相談窓口	☎（　）　−

パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番
電話（0568）81−1511
© Panasonic Ecology Systems Co.,Ltd. 2009
Printed in China
18KCS30750A
K0409-1089